

証券コード：6258

第70期第2四半期 Hirata Report

2020年4月1日～2020年9月30日



平田機工株式会社

Top Message

トップメッセージ

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第70期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、各国でロックダウンや外出自粛などの行動抑制が行われ、経済活動は急速に停滞し、深刻な景気後退に陥りました。今後も新型コロナウイルス感染症の再拡大に対する警戒感に加え、米中対立の深刻化リスクなど、景気の先行きは不透明感を払拭できない状況が続いております。米国では、活動制限により個人消費や設備投資などが大幅に減少したほか、世界的な需要減少により輸出も減少しました。経済活動再開後は、雇用環境や個人消費に持ち直しの動きが見られましたが、設備投資に対しては慎重姿勢が残り、景気は緩やかな回復に留まりました。欧州では、ユーロ圏の雇用・所得環境が悪化し、個人消費も冷え込みました。中国では、世界に先駆けて経済活動を再開し、政府の景気政策を背景に、設備投資が堅調に推移しました。また、海外での経済活動再開などに伴い輸出も増加に転じ、景気は回復基調が続きました。国内では、緊急事態宣言により、経済活動が制限されたことで、個人消費や企業業績が急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は経済活動が再開され、景気は底を打ちましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、在宅勤務やWEB会議システムなどを活用し、新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ、既存事業の深耕・拡大および新規事業への進出に向けて、グループ各社と連携したグローバルな営業活動を展開し、現地調達・現地生産の推進や内製化の拡大など、コスト競争力の強化にも積極的に取り組んでまいりました。また、かねてより建設を進めておりました新工場が完成し、稼働を開始したことにより、今後、さらなる生産性の向上を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は328億円（前年同期比15.4%増）となり、営業利益は27億41百万円（前年同期比148.3%増）、経常利益は28億41百万円（前年同期比127.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億81百万円（前年同期比132.8%増）となりました。

代表取締役社長 平田 雄一郎

通期業績の見込みについて

2021年3月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症により、家電関連およびその他の売上高が予定を下回る見込みとなりました。一方、データセンター需要の高まりや電気自動車関連生産設備の回復基調により、自動車、半導体関連の売上高が予想を上回る見込みとなりました。このため、事業全体の売上高の予想は変わらないものの、事業別構成比は変化する見込みとなりました。また、期初に予定しておりました研究開発費につきまして、研究施設の整備などに時間を要しており、部分的に来期に延期したため、期初計画を下回る見込み

となりました。それに伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたしました。

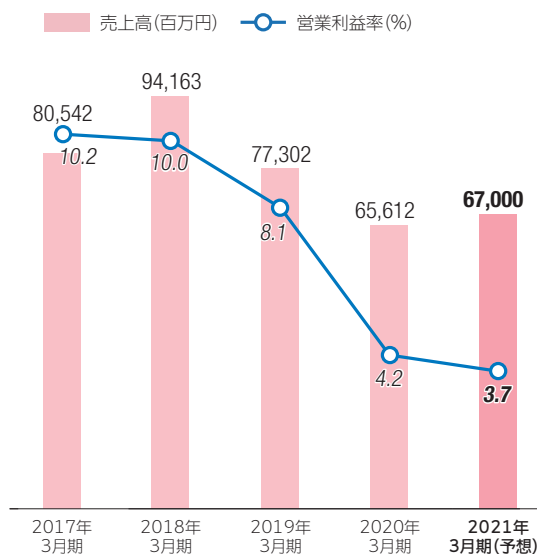
なお、2021年3月期の1株当たりの期末配当は、配当政策に基づき、業績予想に基づく利益水準と前期の配当性向などを勘案の上、30円を予定しております。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 2021年3月期 第2四半期連結累計実績と通期連結業績予想

項目	第2四半期 連結累計実績	通期連結業績予想 2020年8月6日発表	通期連結業績予想 2020年11月12日修正発表
売上高	328億円	670億円	670億円
営業利益	27億円	19億円	25億円
経常利益	28億円	20億円	26億円
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	17億円	11億円	15億円
1株当たり四半期 (当期)純利益	171.62円	105.98円	144.52円
1株当たり配当金	0.00円	25.00円	30.00円

■ 売上高・営業利益率推移



世界に誇れるHeadquarters Building完成

2020年
6月

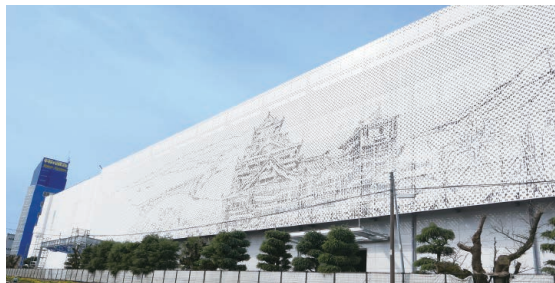
本社機能と工場を一体化し、効率化と生産性向上を図る

2018年1月に着工した新本社工場 [Headquarters Building(以下、HQビル)] が、2020年6月に完成しました。このHQビルは熊本工場敷地内に建設した全長約200m、延床面積22,458㎡の4階建てで、本社機能と工場が一体化した構造です。今回は、HQビル内外部と8月25日に行った落成式の様子をご紹介します。

外観



経営と現場が常に共にあるよう本社機能と工場を一体化



外壁は全長約150mのアルミ製デザインパネル、アーキスキン。阿蘇山、熊本城、肥後六花、天草五橋の一部が描かれている

オフィスエリア

エントランスホール



開放感のあるエントランスホールに、能舞台を設置。HQビルには、「熊本・日本を世界に発信できる本社に」という思いを込めている



デジタルサイネージでは、当社に関する情報を配信

事務フロア



事務フロアはユニバーサルレイアウトを採用。組織変更の際もレイアウト変更をせず、人と書類の移動のみで対応可能

役員フロア



広々とした会議室。ソーシャルディスタンスを保ちながら会議が可能

茶室と日本庭園



お客さまをもてなす空間



ガーデンオフィス



工場エリア

加工エリア



加工エリアは吹き抜け構造。全長約150mのこのエリアでは、自動車や半導体関連生産設備の部品を製造



新たに導入した五面加工機。製品の架台などの加工に使用。パレットチェンジャー付きで連続稼働が可能

Point

近隣工場に分散していた機能を、この新工場に集約しました。また、一部の工作機械は夜間も無人で作動するようシステムを組み込んでおり、24時間体制での稼働が可能です。その他、新たに加工設備を導入し、新工場加工エリアの設備は合計20台になりました。今後もデジタル技術などを活用し、さらなる内製化拡大を目指します。

トレーニングジム



社員の健康維持・増進を目的としてトレーニングジムを設置

クリーンルーム



半導体関連の搬送装置の組立を行うクリーンルームを完備

Headquarters Building落成式 Report

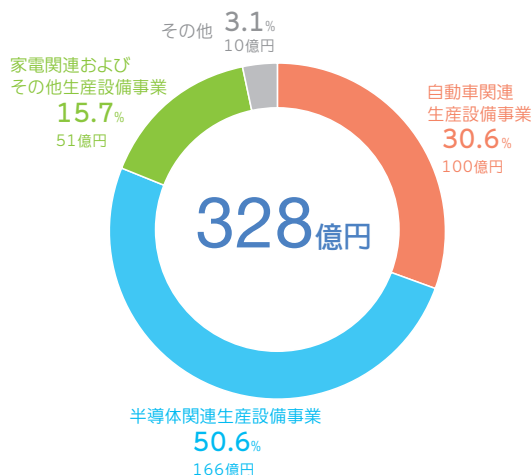
8月25日、HQビルの落成式が行われ、蒲島熊本県知事、大西熊本市長をはじめ、31名のご来賓を賜りました。開会に先立ち、能の演目「高砂」が披露され、囃子のリズムと、住吉明神の颯爽とした舞で落成式に華を添えました。当社社長 平田雄一郎は、「Hirataは活人倍力の会社です。ここ熊本でも何倍も生産性を上げ、世界に通用することを証明し、郷土熊本に恩返しをすることをここに誓い、御礼の言葉とさせていただきます」と述べました。



事業部門別概況

当第2四半期売上高内訳

(2020年4月1日～2020年9月30日)



売上高

328 億円

受注高

310 億円

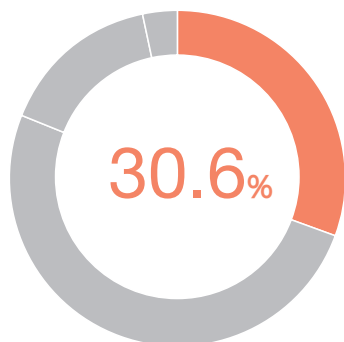
受注残高

336 億円

当第2四半期の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連が100億円で全体の30.6%、半導体関連が166億円で50.6%、家電関連およびその他が51億円で15.7%となっております。新型コロナウイルス感染症の流行による海外での営業活動制限や、自動車における完成車メーカーの設備投資への慎重姿勢など厳しい受注状況が続きましたが、半導体関連において5Gの本格化やデータセンター需要の高まりにより、装置メーカーから継続的な設備投資が行われたことで、半導体関連の売上高が前年同期を大きく上回る水準で推移し、増収増益となりました。

自動車関連生産設備事業

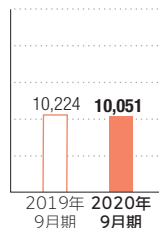
エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品や電気自動車 (EV) をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



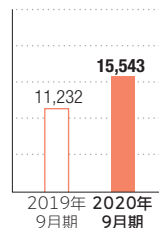
売上高 100 億円

対前年同期比
増減率 ▲1.7%

売上高

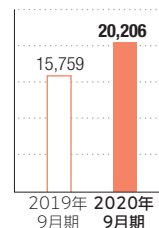


受注高



受注残高

単位:百万円

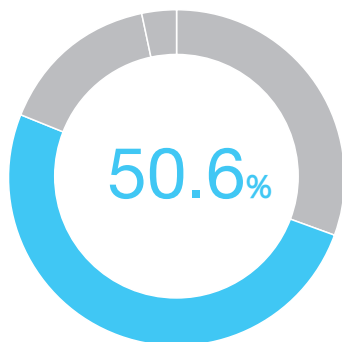


当第2四半期実績

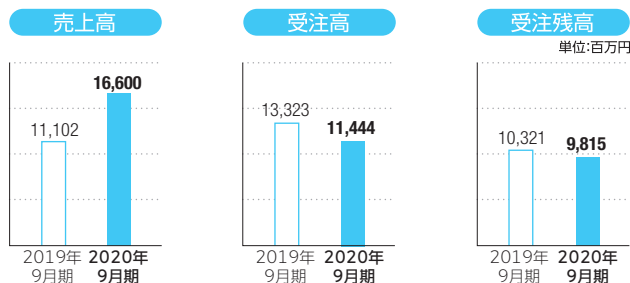
自動車関連生産設備事業は、渡航制限や顧客工場の操業停止などにより、海外での営業活動が制限されたことに加え、自動車市場の低迷を背景に完成車メーカーの設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、受注環境は厳しい状況が続きましたが、前期に受注した案件の生産が順調に進み、足元では電気自動車 (EV) などの次世代車向け生産設備の受注が積み上がったことで、売上高は前年同期並みの水準で推移しました結果、売上高は前年同期比1.7%減の100億51百万円となりました。

半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、有機EL関連生産設備、FPD関連生産設備などの製造・販売



売上高 **166** 億円 対前年同期比 増減率 **+49.5%**

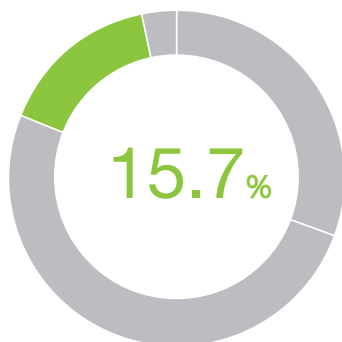


当第2四半期実績

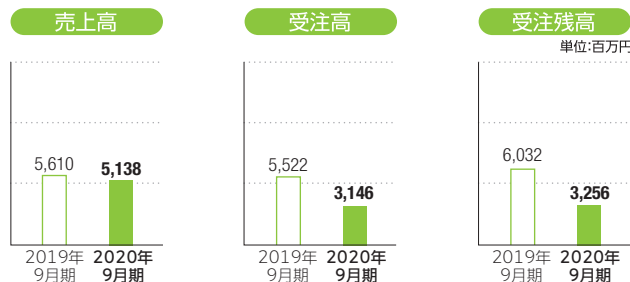
半導体関連生産設備事業は、第5世代移動通信システム(5G)の本格化や在宅勤務の拡大を背景にデータセンター需要が高まり、半導体装置メーカーからの継続的な設備投資が行われたことで、シリコンウェーハ搬送設備などの売上高が堅調に推移しました。また、有機エレクトロルミネッセンス(有機EL)関連も需要が回復したことで、売上高は前年同期を上回る水準で推移しました結果、売上高は前年同期比49.5%増の166億円となりました。

家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、テレビ、掃除機などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **51** 億円 対前年同期比 増減率 **▲8.4%**



当第2四半期実績

家電関連およびその他生産設備事業は、タイヤメーカー向け生産設備の売上高が堅調に推移したものの、新型コロナウイルスの影響で白物家電生産設備の工事が延期となるなど、売上高が低調となりました結果、売上高は前年同期比8.4%減の51億38百万円となりました。

連結財務諸表(要約)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計 年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	57,792	62,440
固定資産	27,617	29,958
有形固定資産	21,737	23,893
無形固定資産	533	467
投資その他の資産	5,346	5,597
資産合計	85,409	92,399

(単位:百万円)

科目	前連結会計 年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
【負債・純資産の部】		
流動負債	28,831	29,670
固定負債	9,585	14,216
負債合計	38,416	43,886
純資産合計	46,993	48,512
負債純資産合計	85,409	92,399

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	28,415	32,800
売上原価	22,919	25,901
売上総利益	5,496	6,899
販売費及び一般管理費	4,392	4,157
営業利益	1,104	2,741
営業外収益	190	151
営業外費用	43	51
経常利益	1,250	2,841
特別利益	9	0
特別損失	12	6
税金等調整前四半期 純利益	1,247	2,834
法人税等	469	1,063
四半期純利益	777	1,770
非支配株主に帰属する 四半期純利益	12	△ 10
親会社株主に帰属する 四半期純利益	765	1,781

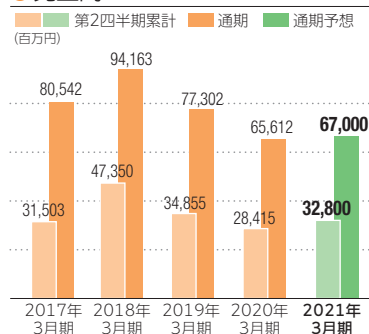
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

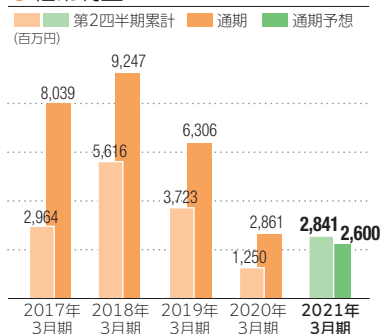
科目	前第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	5,415	△ 4,448
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 476	△ 1,955
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,523	6,239
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 143	△ 162
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	272	△ 326
現金及び現金同等物の 期首残高	11,337	10,972
現金及び現金同等物の 四半期末残高	11,610	10,645

財務ハイライト

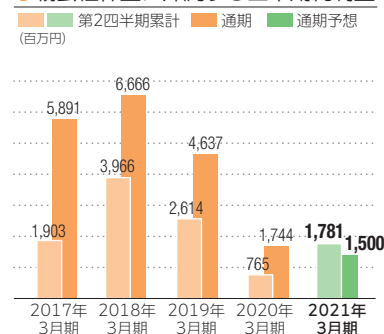
●売上高



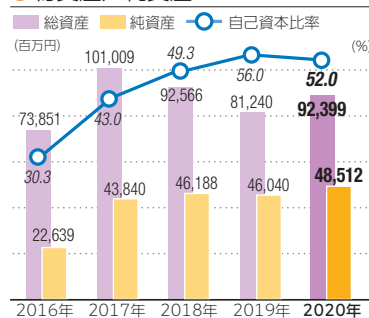
●経常利益



●親会社株主に帰属する四半期純利益

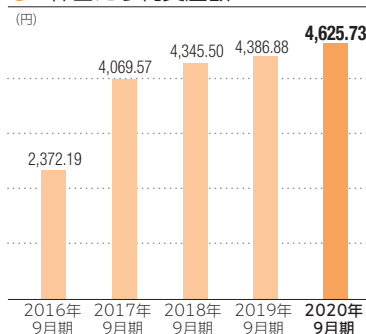


●総資産／純資産

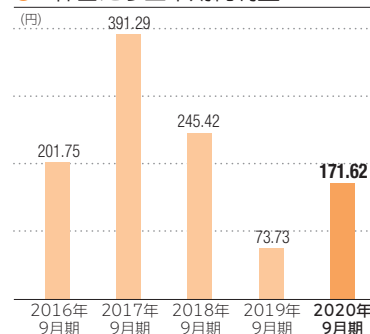


※2017年度から税効果会計の会計基準を適用しております。

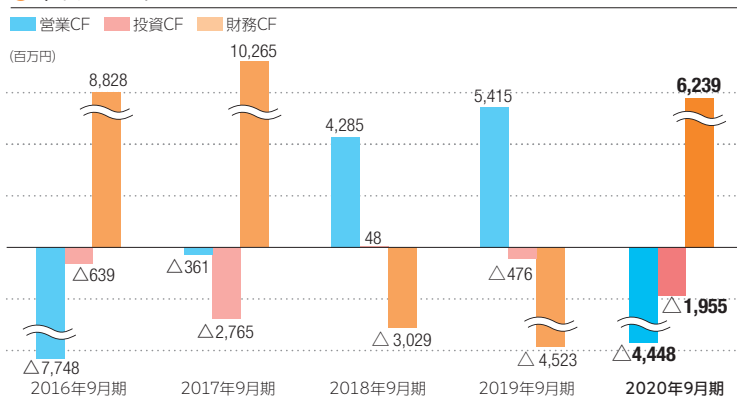
●1株当たり純資産額



●1株当たり四半期純利益



●キャッシュ・フロー



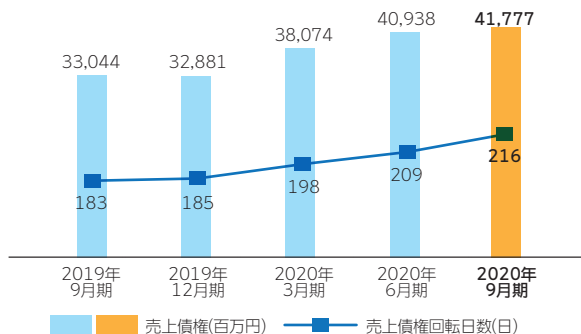
さらに詳しい財務データは、
当社ホームページの「IRライブラリー」をご覧ください。

平田機工 IRライブラリー
 <https://www.hirata.co.jp/ir/library/>

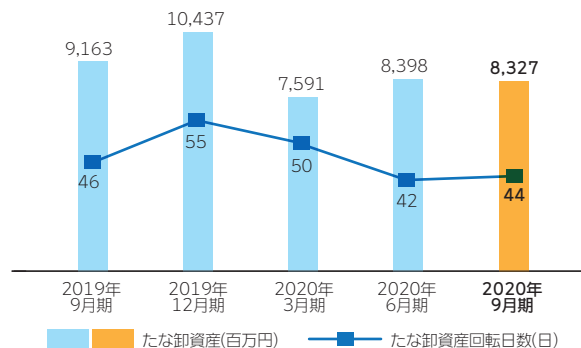


主要指標と配当

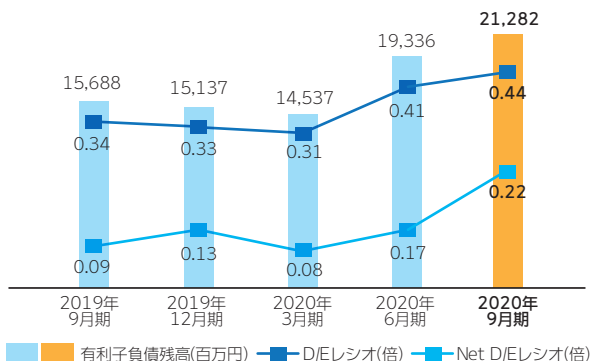
売上債権・売上債権回転日数



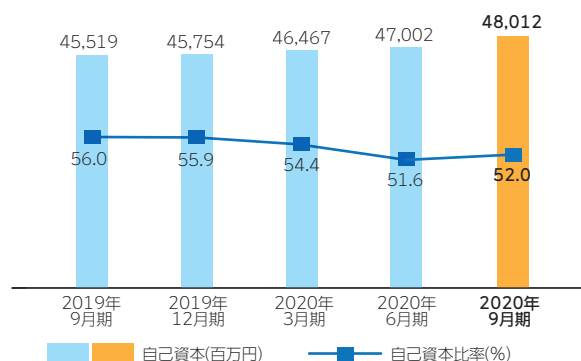
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

配当予想について

当社は、株主に対する利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、財務体質の強化を図りつつ、連結業績や今後の事業展開などを勘案しながら、連結配当性向20%以上を概ねの目安とし、安定的・継続的に行うように努めています。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2020/8/6発表	2020/11/12修正発表
	1株当たり配当金(円)	100.00	125.00 うち記念配当25.00	125.00	40.00	25.00
配当性向(%)	16.0	19.5	28.4	23.8	23.6	20.8

※配当性向は連結ベースです。

会社概要および株式の状況

会社概要 (2020年9月30日現在)

会社名	平田機工株式会社
会社設立	1951年12月29日
資本金	2,633百万円
従業員数	2,242名
事業内容	各種生産システム、産業用ロボットおよび物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地	熊本県熊本市北区植木町一木111番地

役員	代表取締役社長	平田 雄一郎
	取締役専務執行役員	本郷 仁基
	取締役専務執行役員	黒田 健治
	社外取締役	雀部 博之
	社外取締役	鳴沢 隆
	常勤監査役	元田 直邦
	監査役	鳥巢 宣明
	監査役	今村 憲
	監査役	遠藤 恭彦
	常務執行役員CTO	平賀 靖英
	常務執行役員	平田 正治郎
	常務執行役員	藤本 靖博
	執行役員	谷口 敬隆
	執行役員	前田 繁
	執行役員	小泉 正弘
	執行役員	平川 武則
	執行役員	首藤 道信
	執行役員	西村 茂春
	執行役員	戸田 和博

株式の状況 (2020年9月30日現在)

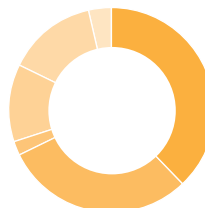
発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式総数	10,756,090株
株主数	7,597名

大株主の状況

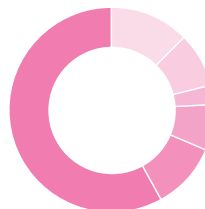
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	549,800	5.30
SMC株式会社	500,000	4.82
株式会社肥後銀行	456,000	4.39
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託0700053	400,000	3.85
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	367,200	3.54
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	301,100	2.90
平田機工社員持株会	297,910	2.87
平田 雄一郎	291,600	2.81
ニッコンホールディングス株式会社	272,400	2.62
BBH FOR GLOBAL X ROBOTICS AND ARTIFICIAL INTELLIGENCE ETF	206,069	1.99

上記のほか、当社が保有している自己株式が376,543株あります。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモおよび株主優待制度

株主メモ(株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
配当金受領日 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。	同事務取扱場所	〈郵便物送付先〉 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話照会先〉 0120-782-031(フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月開催	公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。
単元株式数	100株		
証券コード	6258		
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部		

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

株主優待制度

【対象株主】 毎年、3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様
【優待内容】

クオ・カードもしくは寄付

以下①②のいずれかを選択していただけます。

- ①熊本城災害復旧支援金(6円)付きクオ・カード3,000円分
※3,000円分全額使用できます。
- ②熊本城災害復旧支援金として熊本市に3,000円を寄付
※名義は「平田機工株式会社(株主寄付口)」となります。



©2010 熊本県くまモン#K1761

【贈呈時期】 クオ・カードご希望の株主様への発送は、8月上旬を予定

平田機工株式会社

本 社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地
TEL:096-272-0555 FAX:096-272-7901

●IR情報に関するお問い合わせ先
平田機工株式会社
管理本部 IR・広報部

TEL 096-272-5558
FAX 096-272-3618

E-mail hirata_info@hirata.co.jp